葬儀の流れ

お亡くなりになられた当日

　　　その時は本当に突然です。御遺体の安置先、

運搬のお願いする葬儀社さん等決めておくと安心です。

お電話

その時にはいつでもお電話ください。月洲寺での御遺体の安置も可能です。

枕経

有無を伺います。安置した後、故人にお唱えする初めてのお経です。

ここから住職は導師となりお葬式が始ります。

打ち合わせ

枕経に伺わせて貰うとご遺族と葬儀社さんの打ち合わせに導師が同席いたします。

お電話の場合、ご家族と葬儀社さんとの決定事項のお話を伺います。

お通夜、葬儀の日程、ご希望の戒名等考えていきます。

追想

導師と共に故人を振り返り、故人にふさわしいお葬式を作り上げる為の大切な時間です。

この日は打ち合わせが主となります。

葬儀の日取り、場所が決まり…

　打ち合わせの変更等

　　　様々に流れは変化いたします。ご変更ありましたら気兼ね無く御相談下さい。

戒名　故人への思いを込めてふさわしい戒名を送ります。

葬儀前日　通夜式を執り行います。１８時くらいが目安です。

通夜

月洲寺では故人に戒名を授ける儀式としております。

戒名の由来などのお話をさせていただきます。

　追想　　通夜振舞い等様々な形がございます。

葬儀当日　葬儀式は荼毘に臥される時間に左右されます。

最終の時は午後になる事もございます。

葬儀　故人に引導を渡し、後顧の憂いなく旅立っていただく儀式です。

　参列者にはお別れの香を献じていただきます。

献花　お棺の中にお花を入れます。

謝辞　基本的には喪主ですが、代表の方が参列の方に御礼を述べます。

荼毘　火葬場に移動し、故人の肉体と最後のお別れとなります。

収骨　お骨を骨壷に収め埋葬許可書を受け取ります。

時間は様々ですがおおよそ一時間ほどです。

初七日法要　式場の都合等、葬儀式の時に繰り上げで行う場合もございます。

精進落とし　故人を偲び、ご家族には葬儀の労をねぎらいます。